

平成 26 年度第 3 回技術委員会 議事録

会議名	金属・セラミックス技術委員会	主催者：電気学会
日時	平成 27 年 1 月 20 日(火)15:00～17:00	場所：(社)電気倶楽部 B 会議室
出席者	吉川(横国大)、木村(古河)、一瀬(電中研)、下山(東大)、藤巻(名古屋大)、岩城(日立) 窪谷(東芝)、高木(東芝)、水野(鉄道総研)、伴野(NIMS) 【敬称略】	

【配布資料】

- 1) 270120-1 前回 (H26/7/22) 議事録 (案)
- 2) 270120-2 電気学会 金属・セラミックス技術委員会 名簿
- 3) 270120-3 平成 26 年度 金属・セラミックス技術委員会分掌
- 4) 270120-4 金属・セラミックス技術委員会 HP
- 5) 270120-5 金属・セラミックス技術委員会ポスター案
- 6) 270120-6 Electrical Insulation News in Asia 記事
- 7) 270120-7 電気学会 A 部門誌 記事提案用紙
- 8) 270120-8 平成 27 年度 金属・セラミックス技術委員会活動計画
- 9) 270120-9 電気専門用語集の見直し可否検討について
- 10) 270120-10 部門編修規程細目
- 11) 270120-11 技術委員会・専門委員会 運営要綱

【議事】

1. 前回議事録の確認

- ・ 資料 270120-1 に基づき前回議事録の確認を行い承認された。
- ・ 最終ページ、窪谷委員の苗字の誤記の指摘があった。

2. 新任委員紹介

- ・ 水野委員(鉄道総研)が新たに委員会に加わった。

3. 名簿の確認

- ・ 資料 270120-2 に基づき名簿が確認された。

4. 役割分担の確認

- ・ 資料 270120-3 に基づき各委員の役割分担について確認された。
- ・ 水野委員には項目 (3) (下山委員担当) の研究会 (含フォーラム) +見学会、企画・運営、および項目 (4) (岩城委員担当) の全国大会・A 部門大会、企画に携わってもらってはどうかと提案があった。

5. 金属・セラミックス技術委員会 HP

- ・ 吉川委員長より資料 270120-4 に基づきホームページの確認があった。
- ・ 1 ページ目、委員会が「委員回」と誤記されていたことが指摘された。
- ・ 英語版の掲載も検討する。

- ・ A 賞、部門表彰の記録を掲載することも検討する。

#### 6. 委員の追加について

- ・ 吉川委員長より日高睦夫氏（産総研）のご内諾が得られている旨が報告された。
- ・ A 部門に入っている人でさらに 1 名を勧誘する。

#### 7. A 賞、部門表彰の推薦について

- ・ 吉川委員長より、A 賞、部門表彰の推薦者が報告された。下山委員から各推薦者は第 5 回超伝導材料若手研究交流会発表者の中から選出された旨、補足があった。講演プログラム・番号は以下の Web ページに掲載されている。

<https://workshop.iee.or.jp/sbtk/cgi-bin/sbtk-showprogram.cgi?workshopid=SBW000032B4>

#### 8. Electrical Insulation News in Asia（2014 年 11 月発行）

- ・ 吉川委員長より資料 270120-6 の通り執筆した旨、報告があった。

#### 9. 特集号の企画について

- ・ 窪谷委員から概略が説明された。2016 年 4～9 月の掲載を目指すならば、通常はその 1 年半前にテーマ提案が必要。それから逆算すると、次回の金セラ技術委員会にはテーマがある程度決定している必要がある。
- ・ スケジュール的に 2016 年 10 月掲載ではどうかとの意見があった。現在活動している調査委員会の内容を少し膨らませる形で、例えば「超電導エレクトロニクス」のようなテーマでできないかとの議論があった。
- ・ ちなみに前回 10 件ぐらいの投稿があったが、査読まで行ったのは数件であった。

#### 10. 調査専門委員会活動状況

- ・ 藤巻委員より 2013 年 10 月から活動している調査専門委員会の概略について説明があった。ジョセフソン接合と磁性材料に絡む新規物理現象、量子位相物理などの話題が議論されている旨報告された。

#### 11. 平成 27 年度活動計画

- ・ 資料 270120-8 に基づき議論された。研究会については、すでに SSV の日程は決まっており、SSV とのタイアップは難しいと思われる。また B 部門とのタイアップの可能性についても話題に上がった。下山委員から三菱電機の山本氏にコンタクトを取っていただく。
- ・ 新規調査専門委員会の提案について議論があった。提案として、磁気浮上、エレクトロニクス、計測が上がった。計測については、よりスペシャライズする形で超伝導材料の評価技術というのはどうかとの提案があった。高温超伝導に関しても、まだ確立してはいないが標準化が進んでいる。メンバー（委員長）候補には、木須先生（九州大）、石山先生（早大）、前田氏（理研）、一瀬委員（電中研）の名前が挙げられた。その他もし磁気浮上とするなら、鉄道総研の長嶋氏に相談してはとの意見もあった。現在低温工学・超電導学会の中で立ち上がっている新中温度域超伝導材料の特性制御に関する調査研究会については、少し時期尚早との意見もあった。

- ・ 一瀬委員より、役員会において、技術委員会の活動状況がわからないので電気学会 A 部門大会（金沢大学）のときに報告してほしい旨の意見が出されたことが報告された。
- ・ 電気学会全国大会シンポジウム（H28.3.16-3.18）に関して、新規テーマを提案するなら次回の技術委員会のときには決めなければいけない。
- ・ 技術レビューをどうするかも引き続き議論する。

#### 12. 電気専門用語集の見直し要否検討について

- ・ 当技術委員会では判断しかねる旨、事務局に回答する。

#### 13. その他

- ・ 技術委員会の運営要綱について確認があった。
- ・ 役員から、収支を合わせる（赤字解消）ため、研究会を開いてほしいという要望があるとの話題が上がった。